

人である。

「E-1」「B-6」「F-1」「D-2」は、課題に対して指導を受け、その内容についても役立ったとしている項目である。

しかし、「E-3 調査結果と分析結果を解釈する」「F-2 わかりやすい、読みやすい文章・図表を作成する」は、指導を受けているが、指導の有効性を低く評価している。

## (2) 指導保健婦の認識と実施状況

指導保健婦が「スタッフ保健婦の調査・研究上の課題と知っていること」の上位項目をみると、1位が「F-2 わかりやすい、読みやすい文章・図表を作成する」11人、2位が「B-3 問題間を整理し、総合的にとらえる」「B-4 問題の中から解決すべき課題を特定する」「B-6 文献、関係者などを通じて既知の情報を調べる」9人である。3位が「D-2 目的にあった調査・研究方法を選択する」「E-3 調査結果と分析結果を解釈する」8人である。

指導保健婦は問題把握と明確化、結果のまとめをスタッフ保健婦の課題として重視していることがわかった。そして、スタッフ保健婦が上位項目としている「E-1 目的に応じて収集結果を分析する」「F-1 目的から結果まで論旨が一貫している」については上位項目にはあげていない。

指導保健婦自身が実施している指導・助言をみると、スタッフ保健婦の課題としてとりあげている項目数に対して指導・助言の実施した項目数は少ない。なお、実施した項目をみると、1位は「B-4 問題の中から解決すべき課題を特定する」7人、2位が「F-2 わかりやすい、読みやすい文章・図表を作成する」6人である。

指導・助言上の工夫については、1位が「B-4 問題の中から解決すべき課題を特定する」8人、2位が「F-2 わかりやすい、読みやすい文章・図表を作成する」7人で

ある。3位が「B-3 問題間を整理し、総合的にとらえる」である。

「B-4」「F-2」は課題とっており、実際に指導し、指導に工夫している項目である。

反対に、課題としている項目「B-3 問題間を整理し、総合的にとらえる」「B-6 文献、関係者などを通じて既知の情報を調べる」「D-2 目的にあった調査・研究方法を選択する」「E-3 調査結果と分析結果を解釈する」は指導・助言の実施率は低い。

## 4. 研究プロセスの段階別にみるスタッフ保健婦及び指導保健婦の認識と実施状況 (表 10) (表 11)

調査・研究プロセスAからFの段階別の項目の半数以上の項目に○をつけた保健婦をみると以下のとおりであった。

### (1) 課題と知っていること

スタッフ保健婦があげている課題では「A. 調査・研究の意義」「E. 結果分析と解釈」10人で最も多く、次いで「B. 問題の把握と明確化」9人、「C. 目的・目標の設定」8人の順である。

一方、指導保健婦は、「A. 調査・研究の意義」8人、「F. 結果のまとめ」6人、「B. 問題の把握と明確化」6人、「C. 目的・目標の設定」5人の順である。

両者とも「A. 調査・研究の意義」を1位にあげており、スタッフ保健婦は「E. 結果分析と解釈」を指導保健婦は「F. 結果のまとめ」を上位の課題としてとりあげているのが特徴である。(表 10-1) (表 11-1)

### (2) 指導・助言の状況

指導・助言についてスタッフ保健婦が受けた段階のうち、「E. 結果分析と解釈」11人が最も多く、次いで「A. 調査・研究の

意義」「C. 目的・目標の実際」8人、「B. 問題の把握と明確化」「F. 結果のまとめ」7人「D. 調査の実際」6人の順である。

役立った指導・助言は、「A. 調査・研究の意義」6人、「C. 目的・目標の実際」「E. 結果分析と解釈」5人、「D. 調査の実際」「F. 結果のまとめ」3人、「B. 問題の把握と明確化」2人の順である。

課題の上位項目であるB段階については、指導も受けているが指導内容の評価は低い。A・E段階は指導も受け、内容も役立ったと評価が高い。(表 10-2・3)

指導保健婦が実際に指導した状況を段階別でみると、「A. 調査・研究の意義」8人、「B. 問題の把握と明確化」「C. 調査の実際」3人、「E. 結果分析と解釈」「F. 結果のまとめ」2人、「D. 調査の実際」0人の順である。

指導上工夫・留意した項目は実施した指導とほぼ同じ順位である。課題の上位項目である「F. 結果のまとめ」については、指導の実施も少なく、工夫内容としても下位項目である。(表 11-2・3)

## 5. 調査・研究上の課題に対する指導・助言の実施状況 (AからF段階)

### (表 12) (添付資料 1)

#### (1) スタッフ保健婦個々の認識と実施状況

スタッフ保健婦 18 人のうち課題としている項目に対して、すべての項目について指導・助言を受けているものは 4 人 (22.2%) である。90%台が 4 人 (22.2%)、80%台が 1 人 (5.6%)、70%台が 4 人 (22.2%)、60%台が 3 人 (16.7%)、50%台が 1 人 (5.6%)、0%が 1 人 (0%) である。80%以上は 9 人で約 5 割もあり、課題としている項目に対して実際に指導を受けている者の割合が高いことが分かった。

スタッフ保健婦 18 人のうち課題としている項目に対して指導を受けていない状況をみると、14 人延べ 36 項目である。段階別では「B. 問題の把握と明確化」11 項目、「F. 結果のまとめ」9 項目、「C. 目的・目標の設定」6 項目である。C 段階は項目数からみると受けていない率が高い。

項目別でみると、「B-5 課題解決に関連するデータ・情報を収集する」4 人、「C-3 調査・研究によってどのような結果が得られそうか予測する」「D-1 研究の対象者を選択する」「F-6 結果を保健計画や事業計画に生かす」3 人である。

反対に、スタッフ保健婦が課題としてあげていないにもかかわらず、指導を受けた項目をみると 12 人延べ 23 項目ある。段階別でみると「D. 調査の実際」6 項目、「B. 問題の把握と明確化」5 項目に多く、各項目間には差がみられない。

B 段階は指導・助言も受けているが、また、課題としてあげていない保健婦に対して指導・助言を実施している項目である。

#### (2) 指導保健婦の個々の認識と実施状況

指導保健婦 14 人のうち、課題と知っている項目に対して、すべての項目について指導・助言を実施したものは 1 人 (7.1%)、90%台が 2 人 (15.2%)、70%台が 1 人 (7.1%)、60%台が 3 人 (21.3%)、50%台が 2 人 20%台が 2 人 (15.2%)、0%が 1 人 (7.1%) と 80%以上を実施している指導保健婦は 3 人で約 2 割である。

指導保健婦が課題とあげながら実施していない状況をみると 13 人延べ 51 項目である。段階別では、「B. 問題の把握と明確化」17 項目、次いで「F. 結果のまとめ」15 項目、「D. 調査の実際」8 項目である。

項目でみると「B-6 文献、関係者などを通じて既知の情報を調べる」5 人、「F-2 わかりやすい、読みやすい文章・図表を作成

する」5人、「B-3 問題間を整理し、総合的にとらえる」4人である。

課題と感じていないが実施している項目は、7人延べ11項目である。A段階及びB段階に3人で、各項目間には差がみられない。

## 6. 研究のマネジメントにおける保健婦の認識と実施状況

### (1) スタッフ保健婦

#### (表9、10、12、13) (添付資料2)

スタッフ保健婦が課題と感じている項目は、「G-4 調査・研究を保健婦業務として位置づける」13人、「G-6 調査・研究の指導者の協力を得る」11人、「G-3 調査・研究の円滑な実施に向けて、職場内の合意形成や進行管理する」10人である。

また、受けた指導・助言は「G-2 調査・研究計画書を作成する」「G-3 調査・研究の円滑な実施に向けて、職場内の合意形成や進行管理する」6人である。

役立った項目は、「G-6 調査・研究の指導者の協力を得る」8人である。

スタッフ保健婦18人の個々が課題として取り上げている項目に対して、すべての項目について指導・助言を受けている保健婦は4人(25.0%)、80%台が1人(6.3%)、50%台が1人(6.3%)、30%台が1人(6.3%)、20%台が2人(12.5%)、0%が7人(43.8%)であった。回答者16人のうち80%以上の指導を受けている保健婦は5人で約3割である。

課題としている項目に対して、指導を受けていない状況を見ると12人延べ36項目と多く、AからF段階の合計数とほぼ同じである。

項目別では「G-4 調査・研究を保健婦業務として位置づける」8人、「G-6 調査・研究の指導者の協力を得る」7人、「G-7 研究的視点から業務の評価が行えるように後輩

を指導する」5人である。

課題としていないが指導を受けているのは6人延べ8項目である。そのうち多いのが「G-2 調査・研究計画書を作成する」3人である。

### (2) 指導保健婦

#### (表9、11、12、13) (添付資料2)

指導保健婦では、「G-4 調査・研究を保健婦業務として位置づける」11人、「G-6 調査・研究の指導者の協力を得る」「G-7 研究的視点から業務の評価が行えるように後輩を指導する」9人である。

実施した指導・工夫した項目も「G-4 調査・研究を保健婦業務として位置づける」7人である。課題としている項目に対して、すべての項目に指導・助言しているものは6人(46.2%)、50%台が2人(15.3%)、20%台が2人(15.3%)である。

課題としながら、指導・助言をしていない状況を見ると7人延べ14項目である。

課題としていないが指導・助言を実施したものは3人延べ4項目である。

## 7. 保健婦の研究プロセスにおける記述内容

### (1) スタッフ保健婦と指導保健婦が課題と思っている内容 (表14) (添付資料3)

#### A: 調査・研究の意義

指導保健婦は

- 調査研究は専門職の役割であるという認識の不足
- 研究の動機付けの困難さ
- 事業に対する客観的評価の視点の不足をあげている。

スタッフ保健婦は

- 保健所における調査・研究の位置付けや担当部所の不明瞭さ
- 保健婦業務としての調査研究の位置付けの欠如

をあげている。

両者が共通しているのは

- 所内における研究に対する認識の不足
- 研究の意義に関する共有化
- 業務における研究時間の確保をあげている。

### B 段階：問題の把握と明確化

指導保健婦は

- 地域の問題について総合的な把握、解決すべき課題の特定の困難さ
- 情報の重みの判断の難しさをあげている。

スタッフ保健婦は

- 課題を研究テーマに結びつけることの困難さ
- 所内の文献等の少なさ、文献検索や既知の情報収集の困難さ
- 文献検索等研究時間の確保の難しさ
- 先行研究に関する文献等の入手の難しさをあげている。

両者が共通しているのは

- 地域におきている現象、問題現象、問題の背景・原因など、問題を関連付けて捉えることの難しさ
- 大学などの専門図書館の利用困難をあげている。

### C 段階：目的・目標の設定

指導保健婦は

- 思いが先行し、何がしたいかの客観的事実として表現の難しさ
- 研究計画書の作成の難しさをあげている。

スタッフ保健婦は

- 仮説をたて、調査を進めることの難しさ
- 両者が共通しているのは
- 調査・目標の具体的表現の難しさ
- 目的・目標の焦点化の難しさ
- 課題から研究テーマに結びつけることの

難しさ

をあげている。

### D 段階：調査の実際

指導保健婦は

- 研究目的よりも実施可能を重視する傾向をあげている。

スタッフ保健婦は

- 調査を受ける側が記入しやすい調査項目の表現の難しさ
- 予備調査の必要性をあげている。

両者が共通しているのは

- 目的に応じた調査方法の選択の難しさ
- 目的に応じた調査票の作成の難しさ
- 質問項目の整理の難しさ
- 妥当な調査項目のスケールの設定の難しさをあげており、指導保健婦とスタッフ保健婦とも共通した項目が多い。

### E 段階：結果の分析と解釈

指導保健婦は

- 目的・結果に応じた解釈の難しさ
- 結果分析においては、全体及び具体的な項目に関する分析の難しさ
- 先行研究についての文献検索の困難さ
- 分析ための統計手法の知識の不足をあげている

スタッフ保健婦は

- 研究結果の解釈と考察することの難しさ
- 全国など他県との比較・解釈の難しさ
- 目的に応じたデータの読み取りの難しさ
- 目的に応じた分析方法の選択の難しさ
- 統計処理やコンピューターの実際の難しさをあげている。

指導保健婦とスタッフ保健婦による共通する項目が少ない。

## F 段階：結果のまとめ

指導保健婦は

- 結果の事業計画への反映
- 発表先によるまとめ方の違いをあげている。

スタッフ保健婦は、

- 研究の要旨の書き方の難しさ
- 研究目的に沿ったデータの読み取りの難しさ
- 莫大な情報から必要な情報を精選し、表現する難しさをあげている。

両者が共通しているのは

- 目的の設定から考察までの論旨の一貫した記述の難しさ
- わかりやすい文章や図表の作成の難しさをあげている。

(2) 研究プロセスにおける指導保健婦が実施した指導・助言内容とスタッフ保健婦が役立った考える指導・助言内容

(表 15) (添付資料 4)

## A 段階：調査・研究の意義

指導保健婦が実施している内容として

- 上司・助言者の人脈を確保し、研究に取り組める体制づくり
- 年間事業として研究を位置付けるための職員の意思統一
- 日常業務を研究的視点で取り組むことを記述している。

スタッフ保健婦もこれらの指導・助言が役立っていると記述している。

## B 段階：問題の把握と明確化

指導保健婦は

- 「何が課題なのか」「それを調べた結果、意義があるのか」「言葉の定義はグループメンバーで共有しているか」などの指導
- 常に地域の実態把握を大切にし、地域の

課題は何かを補らえること

- 管内全体に対策を考える必要性があると思われる事業の整理を記述している。

スタッフ保健婦は、これらの内容が役立っているとし記述しているが、この他に

- 問題や課題を文章化するとともに図式化や構造化すること
  - 概念構造図を使って研究の意義について説明すること
  - 日常業務から研究に結びつけるためのプロセスを図式化すること
- はさらに役立っているとしている。

## C 段階：目的・目標の設定

指導保健婦は

- 客観的事実に対する表現や記述の仕方
- 情報を整理、分析してテーマを絞ること
- 目的・目標・仮説はできるだけ具体的に記述するとともに根拠や妥当からも見直すこと
- 地域で起きている現象や業務推進上の問題から課題を特定し、研究のテーマに結びつけることを記述している。

スタッフ保健婦は、これらの内容が役立っているとし記述しているが、この他に

- 概念枠組みの整理
  - 課題とテーマ、キーワードの設定
  - 概念や用語の整理方法
- はさらに役立っているとしている。

なお、指導保健婦が行っている

- 課題解決の方向性を検討
  - 事業の効果を図式化して表現すること
- については、役立ったという記述がない。

## D 段階：調査の実際

指導保健婦は

- 調査研究によって何を知りたいか、どのような結果が得たいのか明らかにすること

- 既存の調査票や先行研究等の情報の把握
  - 目的の再認識と集計結果のイメージし、必要に応じて修正すること
  - 適切な調査方法を選択するための文献等の紹介
- を記述している。

スタッフ保健婦は、これらの内容が役立っているとし記述しているが、この他に

- 調査内容の妥当性
- バイアスがかからないよう調査マニュアルの作成

- 調査の信頼性

はさらに役立っているとしている。

なお、指導保健婦が行っている

- 研究目的は実施可能な期間・内容の考慮
  - 調査方法について調査のために費やす時間や効果についての検討
- については、役立ったという記述がない。

#### E 段階：結果の分析と解釈

指導保健婦は

- 目的・目標から分析
- 結果についての解釈の仕方
- 統計調査における適切な分析方法の選択
- 目的に応じた収集結果の分析及び明らかになった事柄の記述

- 調査結果と分析結果の解釈を記述している。

スタッフ保健婦は、これらの内容が役立っているとし記述しているが、この他に

- 統計手法の活用方法やデータの見方
- 表・グラフなど図式化することにより結果を事前にイメージをすること

- コンピューター操作の実際

はさらに役立っているとしている。

#### F 段階：結果のまとめ

指導保健婦は

- 他論文や文献検索等により自分の論文を見直すこと

- 研究結果については、住民や関係者と共有すること

- わかりやすく文章を表現すること

スタッフ保健婦は、これらの内容が役立っているとし記述しているが、この他に

- 結果の解釈と考察の論点の妥当性

- 結果・考察と目的、仮説検証の可否

- 結果のまとめの作成の仕方

- 事実から導きだされた結果

- 論文、抄録の書き方（相手にわかりやすい表現、文字の大きさ、スライド、OHP使用時の効果的な見せ方、口演でのポイント）

はさらに役立っているとしている。

なお、指導保健婦が行っている

- 結果のまとめにおいては、関係者の意見を聞くこと

については、役立ったという記述がない。

#### D 考察

地域保健法の施行により、保健所に調査・研究機能が強化された。しかし、これまでの研究結果から、保健婦の調査研究能力の育成のための研修機会が少なく、また、研修の体系化がなされていないのが実態である。特に、職場内教育における指導方法・指導体制の充実が急がれる。

前年度の研究では、保健婦が先駆的に調査・研究を実施している保健所を全国から8箇所を選び、指導的立場の保健婦及びスタッフ保健婦を対象に調査・研究プロセスに沿って、①調査・研究上の課題、②指導・助言内容、③指導上の工夫について聞き取り調査を行った。その結果に基づき保健婦の調査・研究の指導方法・指針案を作成した。

今年度は、この指針案を精選するために、調査・研究に関する研修を受けた後、各自のテーマに沿って大学教員等の個別指導を

受け、調査・研究をまとめ、学会に発表したA県の保健所保健婦とその指導した保健婦を対象に調査を行った。

## 1. 保健所保健婦の調査研究状況

回答者 15 人の保健所保健婦が過去 3 年間に実施している調査研究は、厚生省の指定調査と地域の実態把握調査に大きく二分されている。保健婦が実施している調査対象は前年度と同様に 100 人から 499 人が多く、1 保健所あたりの平均件数は 1.64 件であった。

A 県全体として、今年度から保健所保健婦の調査・研究の取り組みをおこなったことから、保健所に指導者を配置するとともに大学など外部からの指導を受ける体制が整えられている。また、市町村からの調査・研究の相談窓口を置くなど保健婦の調査・研究体制は充実している。

## 2. 調査・研究プロセスにおける保健婦の認識と実施状況

「A. 研究の意義」から「F. 結果のまとめ」の 6 段階 25 項目について

### (1) 調査・研究上の課題

調査・研究上の課題として、スタッフ保健婦は上位項目として、結果の分析や解釈、文献検索、論旨の一貫性、わかりやすい文章・図表の作成 (E-1,E-3,B-6,F-1,F-2) をあげていた。これはスタッフ保健婦は学会に発表することをめざして、調査・研究を行っていることから、そのプロセスのなかで、結果分析やまとめの大変さ、文献検索の重要性を感じたためと考えられる。

一方、指導保健婦は保健婦の課題として、問題の明確化と把握に関する B 段階に関する項目 (F-2,B-3,B-4,B-6,D-2,E-3) が多かった。また、スタッフ保健婦が上位にあげているデータの収集結果の分析や論旨の一貫性あるまとめ方 (E-1,F-1) は低い。これは、

指導保健婦は、保健婦の調査・研究において、研究テーマの決定以前の地域の問題の総合的把握と地域の課題特定が保健婦の重要課題と判断していることが分かる。このような指摘は、平成 9・10 年度の保健婦の調査・研究に関する研究<sup>1)</sup>、保健婦の保健計画・施策化に関する研究<sup>2)</sup>、平成 11 年度の保健婦の研修企画に関する研究<sup>3)</sup>にもある。

スタッフ保健婦は、調査・研究を実施するために必要な統計や疫学に関する知識・技術を課題としているのに対し、指導保健婦は調査・研究の基本である地域の健康問題の把握と特定など日常活動に立脚した研究のあり方を重視しているという、両者の立場による違いが現われたと考える。

### (2) 調査・研究の指導・助言の実施状況

スタッフ保健婦にとって、課題の上位項目で指導・助言を受けた項目のうち、役立った率が高いのは、データの収集結果の分析、文献検索、論旨の一貫性あるまとめ、調査方法の選択 (E-1,B-6,F-1,D-2) であるが、低いのは結果分析・解釈や分かりやすい文章の作成 (E-3,F-2) であった。このことから、スタッフ保健婦にとって、指導を受けても結果分析、文書作成は、なお、個別の実際指導が必要と考えられる。

指導保健婦は課題としてあげている項目数に対して、実際に指導・助言をした項目数が少なく、特に問題の総合的把握や文献検索、調査方法の選択、結果解釈 (B-3、B-6,D-2,E-3) の実施率が低かった。

しかし、指導保健婦は地域の課題の特定や分かりやすい文章の作成 (B-4,F-2) は、実際に指導・助言をし、指導上の工夫もしていることがかわった。ただし、「F-2」については、スタッフ保健婦にとって役立つとの評価が低い。

このことから、指導保健婦が課題として

いる「B. 問題の明確化と把握」に関する項目や分かりやすい文章の作成については指導保健婦として最も役割を発揮できる項目でありながら、実施状況も少なく、また、有効性も低いことから、その指導内容や方法を検討し、力量を修得していく必要があると考える。

(3) 調査・研究プロセス段階別の項目数のうち、半数以上の項目に○をつけた保健婦の状況

#### 1) 保健婦の調査・研究上の課題

スタッフ保健婦と指導保健婦のいずれもが1位は「A. 研究の意義」をあげているが、スタッフ保健婦は職場や業務の中での研究の位置づけをあげ、指導保健婦は専門職としての保健婦の研究の意味を課題にしており、両者の違いがみられる。また、スタッフ保健婦は1位として「E. 結果分析と解釈」にあげ、2位に「B. 地域の課題の把握と明確化」をあげている。

指導保健婦は2位に「B. 地域の課題の把握と明確化」「F. 結果のまとめ」をあげている。

指導・助言においては、「A. 研究の意義」以外の段階において、役立った内容が少なく、特に「B. 地域の課題の把握と明確化」が少ない。また、指導保健婦の「F. 結果のまとめ」の実施率は少なかった。

これらの結果から、研修にあたっては「A. 研究の意義」「B. 地域の課題の把握と明確化」を重点的に行い、特にスタッフ保健婦には「E. 結果分析と解釈」について指導保健婦には「F. 結果のまとめ」について強化する必要がある。

#### 2. 個別にみた課題に対する指導・助言状況

スタッフ保健婦 18人それぞれが課題と

している項目に対して、指導・助言を受けている項目が80%以上を超えるものは、9人で5割を超えていた。これは、大学教員による個別指導があったためと考える。

項目ごとにみると、課題としている項目に対し、スタッフ保健婦が指導を受けていない項目は、「B」「F」「C」段階の順に多く、特「C. 目的・目標の設定」は率が高い。これは課題を研究テーマに結びつけたり、目的・目標の明記、結果の予測など、研究プロセスのなかでも、具体から抽象化する最も時間と指導を要する段階である。

また、課題としていない項目で指導を受けた項目は、「B. 問題の把握と明確化」「D. 調査の実際」に関するものであった。

この結果は、平成9年度の調査結果に基づいて作成した研修プログラムの重点事項とほぼ同様であり、指導時間を多く取るとも指導方法についても工夫する必要がある。

指導保健婦 14人が課題としている項目に対して指導・助言をしている項目が80%以上のものは、3人で約2割であった。

このことは、単に指導保健婦の調査・研究に対する知識や技術の不足が原因ではなく、今回の取り組みが大学教員等による個別指導のため指導する機会が少なかったとも考えられる。

指導保健婦が課題としながら、実施していない項目は、「B. 問題の把握と明確化」「F. 結果のまとめ」が多く、特に文献検索、分かりやすい文章作成、地域問題の総合的把握であることから、指導・助言ができるように研修が必要であると考えられる。

#### 3. 研究のケアマネジメントにおける保健婦の認識と行動

スタッフ保健婦にとって、「G. 研究のケアマネジメント」は調査研究プロセス各



段階のなかで、課題、受けた指導・助言、役立った指導・助言のいずれも低位である。

反対に指導保健婦はいずれも上位であった。このことは組織・役割上当然の結果であると考えられる。

スタッフ保健婦が課題としている上位項目は「G-4 研究を保健婦業務に位置付ける」「G-6 指導者の協力を得る」「G-7 研究視点から業務の評価が行えるように後輩を指導する」である。これらの項目は「A. 研究の意義」に深く関わる項目で連動していることが分かる。

スタッフ保健婦個々にみると、課題項目に対する指導助言を受けている項目が 80%以上の保健婦は約 3 割と A から F 段階の 5 割に比較して少ないことが分かった。

指導保健婦が課題としている項目は、スタッフ保健婦と同様である。

指導保健婦個々にみると課題に対する指導・助言実施状況は 80%以上の保健婦は約 5 割であり A から F 段階の 2 割に比較して多いことが分かった。

指導保健婦にとって「G. 研究のケアマネジメント」は最も役割として発揮する立場や役割があると考えられるが、スタッフ保健婦にとっては指導・助言として役立ったとしている保健婦が少ないことから、さらに指導や環境づくりが重要と考える。また、スタッフ保健婦にとっても調査・研究を実施する上での前提条件であることからその基本的な考え方や進め方については学ぶ必要があると考える。

#### 4. 研究プロセスにおける保健婦の記述内容

##### (1) 保健婦が困っていること・課題と思っている記述内容

スタッフ保健婦と指導保健婦とは、ほぼ課題としている記述内容は「E. 結果分析

と解釈」段階を除いて共通していた。

E 段階は指導保健婦が結果の解釈や分析のための統計手法を記述しているのに対して、スタッフ保健婦はデータの読み取りや統計処理、コンピューターの操作などをあげている。

各段階で特記する記述として、「B. 問題の明確化と把握」において、指導保健婦は、スタッフ保健婦の地域の問題を総合的にとらえたり、解決すべき課題が特定できないというのに対して、スタッフ保健婦は文献検索や既知の情報収集の困難さをあげている。

「F. 結果のまとめ」では、スタッフ保健婦は研究要旨の書き方や読み取りとその表現を記述しているのに対し、指導保健婦は結果の活用をあげていた。

これらのことから、スタッフ保健婦は、結果の分析解釈、結果のまとめ、文献検索など研究論文作成に必要な実際的な知識や技術を課題としているのに対し、指導保健婦は研究の必要性や研究結果の反映、研究手法の必要性など抽象的な記述になっているのが特徴的であった。

平成 11 年度と前年度の結果を比較すると表 14 のとおりである。スタッフ保健婦、指導保健婦のいずれにおいても新たに加わった記述内容は少ない。

以上のことから、保健婦が調査・研究を実施する上での課題は今年度の研究で確認されたものと考えられる。

##### (2) 指導・助言状況

指導保健婦の実施した指導・助言とスタッフ保健婦にとって役立った指導・助言内容を照合してみると「E. 結果分析と解釈」段階を除いてほぼ共通していた。

各段階でスタッフ保健婦が役立っているとして特記している記述として、「B. 問題の明確化と把握」では問題や課題、概念構造

など図式化による指導方法をあげている。「C. 目的・目標の設定」では概念枠組み、用語、キーワードの設定「D. 調査の実際」では調査の妥当性、信頼性「E. 結果分析と解釈」ではデータの読み取り、コンピューター操作、「F. 結果のまとめ」では、結果の解釈、仮説の検討、論文の書き方など、調査研究を進める上での知識・技術、コンピューター-操作の実際が役立っていると記述されていた。

これらの記述内容は指導保健婦の実施した指導・助言の記述内容には含まれていないことから大学教員等による指導内容ととらえることができる。

平成 11 年度と前年度の結果を比較すると表 15 のとおりである。

「B. 問題の明確化と把握」「E. 結果分析と解釈」の指導・助言上の工夫がより具体的となり、「C. 目的・目標の設定」「D. 調査の実際」「E. 結果分析と解釈」「F. 結果のまとめ」に新たに多くの記述が加えられた。

これは、平成 11 年度の調査対象のスタッフ保健婦が各自のテーマに基づき、個別指導をうけ、研究発表していることによる影響と考える。内容も大学教員等による概念枠組みや分析手法の活用等、前年度の保健所保健婦全体で取り組んでいる地域の実態調査とは異なっている。

今後、益々保健所保健婦には管内全体の保健医療福祉サービスの評価や事業評価、市町村が実施する調査・研究の支援が求められると考える。

以上のことから、平成 10 年度の指針を踏まえて、「保健婦の調査・研究に関する指導指針」を以下の構成で作成した。

1. 保健婦が調査・研究を実施する上で困っていること・問題とと思っていること
2. 保健婦の調査・研究能力の自己評価

3. 調査・研究プロセスにおける指導・助言方法

4. 保健婦の調査・研究に関する研修プログラム

5. 保健婦の調査・研究に関する Q & A

E. 結論

1. 調査対象の保健所は、保健婦の調査・研究に対して指導者を置くなど指導体制が整えられている。

2. 調査・研究を実施する上での保健婦の課題は、スタッフ保健婦は「E. 結果分析と解釈」や「F. 結果のまとめ」「B. 問題の明確化と把握」であるが、指導保健婦は「B. 問題の明確化と把握」「F. 結果のまとめ」であった。

3. スタッフ保健婦個々が課題としている項目に対して指導・助言を受けている項目が 80 %以上の保健婦は 18 人のうち 5 割であった。保健所の指導保健婦だけでなく大学教員等の個別指導によるものと思われる。

課題項目に対して、指導・助言がない項目は「地域の問題の明確化と把握」

「結果のまとめ」「調査の実際」に関する項目である。

また、記述内容から、有効であった項目は指導保健婦が実施している記述内容とほぼ同じ記述がされているが、それ以外の大学教員等の指導として、「C. 目的・目標の設定」「D. 調査の実際」「E. 結果分析と解釈」「F. 結果のまとめ」において調査・研究を進める上での統計、疫学などの知識・技術、コンピューター操作の実際が役立っているなど前年度とは異なる記述が新たに多くされていた。

4. 指導保健婦個々が課題としている項目に対して指導・助言をしている項目が 80 %以上の保健婦は 14 人のうち約 2 割

であった。

課題項目に対して、指導・助言をしていない項目は「B. 地域の問題の明確化と把握」「F. 結果のまとめ」に関する項目である。

また、記述内容から、指導保健婦が実施している記述内容についてはスタッフ保健婦は役立つ内容としてもほぼ記述をしているが、さらに、指導保健婦にも、「C. 目的・目標の設定」「D. 調査の実際」「E. 結果分析と解釈」「F. 結果のまとめ」に関する統計、疫学などの基本的知識等が求められる。

5. 保健婦の調査・研究に関する研修として、スタッフ保健婦に対しては「A. 研究の意義」はもちろん「B. 問題の把握と明確化」「C. 目的・目標の設定」など課題を研究テーマに結びつけたり、目的・目標の明記、結果の予測など具体から抽象化するこのプロセスに演習等を取り入れるなど最も時間と指導を要する。

さらに「D. 調査の実際」「E. 結果分析と解釈」「F. 結果のまとめ」について特に一貫性のある論文作成、分かりやすい文章作成については、基本的知識はもちろんは個別指導が必要である。

指導保健婦に対しては、役割として特に「B. 問題の把握と明確化」「F. 結果のまとめ」に重点を置く必要がある。

なお、調査・研究上必要な疫学や統計に関する知識・技術の修得が必要である。

なお、「G. 研究のケアマネジメント」は指導保健婦にとって環境づくりやスタッフ保健婦への指導など役割上、大変重要と考えることから、強化していく必要がある。また、スタッフ保健婦にとっても調査・研究を勧める上でその基本的な考え方や進め方については学ぶ必要

があると考えられる。

6. 以上のことから、平成 10 年度の指針を踏まえて、「保健婦のための調査・研究の指導指針」を以下の構成で作成した。

1. 保健婦が調査・研究を実施する上で困っていること、問題とと思っていること
2. 保健婦の調査・研究能力の自己評価
3. 調査・研究プロセスにおける指導・助言方法
4. 保健婦の調査・研究に関する研修プログラム
5. 保健婦の調査・研究に関する Q & A

F. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他

引用・参考文献

- 1) 丸山美知子：保健婦の調査・研究の資質向上に関する研究. 平成 9 年度厚生科学研究報告書「地域保健における保健婦等の活動に関する研究報告書（主任研究者：田中久恵）」1997. 平成 10 年度厚生科学研究報告書「地域保健における保健婦の機能・役割と資質向上に関する研究（主任研究者：丸山美知子）」1998
- 2) 村山正子：新たな地域保健対策に対応した保健婦の現任教育の足り方に関する研究. 平成 9 年度厚生科学研究報告書「地域保健における保健婦等の活動に関する研究報告書（主任研究者：田中久恵）」. 1997

- 2) 厚生省通知：保健婦活動指針について、1998
- 3) 金川克子：看護研究の動向と研究への誘い 量的研究から質的研究の流行、そして両者の統合、保健婦雑誌、1997 ; 53(3) : 174-176
- 4) D. f. ポーリット他著、近藤潤子監訳：看護研究 原理と方法、医学書院、1994
- 5) 数間恵子他：看護研究のすすめ方・よみ方・つかい方、日本看護協会出版会、1997
- 6) 黒田裕子：看護研究 スタッフを指導するために、日本看護協会出版会、1996

研究協力者

山田和子 (国立公衆衛生院)

表1 回答者の属性

	スタッフ保健婦		指導保健婦	
	人数	%	人数	%
20歳台	2	11.1	0	0
30歳台	10	55.6	1	6.7
40歳台	6	33.3	8	53.3
50歳台	0	0	5	33.3
未記入	0	0	1	6.7
計	18		15	

表2 指導保健婦の職位

	人数	%
スタッフ	1	6.7
係長級	13	86.6
未記入	1	6.7
計	15	

表3 過去3年間の調査の対象者数

	人数	%
500人	2	11.1
499～100人	6	33.3
99～50人	3	16.7
49～10人	6	33.3
不明	1	5.6
計	18	

表4 活動形態

	人数	%
業務分担制	1	6.7
地区分担制	1	6.7
併用型	13	86.6
計	15	

表5 所轄する部署

	人数 (保健婦)	%
教務・企画課	8 (4)	53.3
予防・指導課	5 (5)	33.3
未記入	2	13.4
計	15	

表6 相談窓口

	人数	%
設置	8	53.3
なし	4	26.7
未記入	3	20.0
計	15	

表7 指導体制

	(N=18)	人数	%
保健所内		15	83.3
指導者が決まっている		13	72.2
決まっていない		2	11.1
保健所外		4	22.2
大学		4	22.2
研究所		0	0
その他		1	5.6

表8 保健婦の研究に関する指導・助言者の有無

	(N=18)	人数	%
保健所内		16	88.9
決まっている		7	38.9
決まっていない		9	50.0
保健所外		14	77.8
大学		10	55.5
研究所		0	0
その他		5	27.8

表9

保健婦の調査・研究プロセスAからF段階  
における保健婦の認識と実施状況

	スタッフ(N=18)				指導者(N=14)			
	(1)あなたが困っていること・課題と 思っていること	(2)各段階で受けた指導・助言の内容 該当 重要	(3)役立った・必要と思った指導・助言	(1)保健婦が困っていること・課題と 思っていること	(2)各段階で実施している指導・助言 該当 重要	(3)指導・助言上の 実際の工夫		
<b>A. 調査・研究の意義</b>								
1. 調査・研究する必要性・意味を理解している	1	2	1	2	6	6	3	3
2. 調査・研究の位置づけが明確である	10	6	2	4	2	4	3	4
<b>B. 問題の把握と明確化</b>								
1. 地域におきている現象・問題を感じとる	4	2	—	1	4	2	1	1
2. 現象・問題が生じた背景、原因を把握する	4	4	—	1	4	2	—	2
3. 問題間の関係を整理し、総合的にとらえる	6	7	2	3	9	4	1	6
4. 問題の中から解決すべき課題を特定する	9	10	4	6	9	7	4	8
5. 課題解決に関連するデータ・情報を収集する	8	4	2	2	3	2	—	3
6. 文献、関係者などを通じ既知の情報を調べる	12	10	3	8	9	4	—	4
<b>C. 目的・目標の設定</b>								
1. 課題を調査・研究のテーマに結びつける	6	5	3	5	5	5	1	4
2. 調査の目的・目標を具体的に表現する	9	9	3	5	7	5	1	5
3. 調査・研究によってどのような結果が得られそうか予測する	10	8	1	6	6	5	3	3
<b>D. 調査の実際</b>								
1. 研究の対象者を選択する	6	4	—	2	1	2	—	1
2. 目的にあった調査・研究方法を選択する	10	11	3	8	8	4	1	4
3. 目的に応じたデータ収集の方法を選択する	8	9	2	4	4	3	2	3
4. 目的に応じた調査表等を作成する	8	9	3	7	5	3	2	4
5. 予備調査等の結果により方法や内容を修正する	2	3	—	1	3	0	—	1
<b>E. 結果分析と解釈</b>								
1. 目的に応じて収集結果を分析する	13	12	—	7	5	5	1	5
2. 目的に照らして明らかになった事柄を示す	6	7	—	4	2	2	1	2
3. 調査結果と分析結果を解釈する	12	11	5	4	8	3	2	5
<b>F. 結果のまとめ</b>								
1. 目的から結果まで論旨が一貫している	11	10	—	8	5	2	—	3
2. わかりやすい、読みやすい文章・図表を作成する	11	10	2	5	11	6	—	7
3. 報告書を作成する	3	4	—	1	2	2	—	2
4. 結果を地域住民、関係者に報告する	2	4	2	2	3	2	—	2
5. 結果を研究誌等に発表する	6	5	—	6	6	3	—	4
6. 結果を保健計画や事業計画に生かす	5	4	1	3	6	4	3	4
<b>G. 研究のマネージメント</b>								
1. 取り上げる課題の意義を周囲に説明する	2	—	—	2	4	3	—	3
2. 調査・研究計画書を作成する	6	5	—	1	1	2	1	3
3. 調査・研究の円滑な実施に向け、職場内の合意形成や進行管理する	10	6	1	5	5	3	1	4
4. 調査・研究を保健婦業務として位置づける	13	6	2	4	11	7	4	7
5. 研究費の予算化ができる	8	3	1	3	5	2	1	3
6. 調査・研究の指導者の協力を得る	11	3	1	8	9	4	2	3
7. 研究的視点から業務の評価が行えるように後輩を指導する	6	2	—	4	9	4	1	4

表 10

研究プロセスの各段階別にみるスタッフ保健婦の認識と実施状況

(1)あなたが困っていること・課題と想っていること

10-1

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	人数(*)
<b>A. 調査・研究の意義</b>																			
1. 調査・研究する必要性・意味を理解している																			1
2. 調査・研究の位置づけが明確である	○	○																	10
<b>B. 問題の把握と明確化</b>																			
1. 地域におきている現象・問題を感ずる						○													4
2. 現象・問題が生じた背景、原因を把握する				○															4
3. 問題間の関係を整理し、総合的にとらえる				○	○														6
4. 問題の中から解決すべき課題を特定する			○																9
5. 課題解決に関連するデータ・情報を収集する	○	○																	8
6. 文献、関係者などを通じ既知の情報を調べる	○	○																	12
<b>C. 目的・目標の設定</b>																			
1. 課題を調査・研究のテーマに結びつける										○	○	○	○	○	○	○	○	○	6
2. 調査の目的・目標を具体的に表現する	○									○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
3. 調査・研究によってどのような結果が得られそうか予測する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
<b>D. 調査の実施</b>																			
1. 研究の対象者を選択する	○																		6
2. 目的にあった調査・研究方法を選択する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
3. 目的に応じたデータ収集の方法を選択する	○																		8
4. 目的に応じた調査表等を作成する	○	○																	8
5. 予備調査等の結果により方法や内容を修正する																			2
<b>E. 結果分析と解釈</b>																			
1. 目的に応じて収集結果を分析する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13
2. 目的に照らして明らかになった事柄を示す																			6
3. 調査結果と分析結果を解釈する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
<b>F. 結果のまとめ</b>																			
1. 目的から結果まで論旨が一貫している	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
2. わかりやすい、読みやすい文章・図表を作成する	○	○																	11
3. 報告書を作成する				○															3
4. 結果を地域住民、関係者に報告する	○																		2
5. 結果を研究誌等に発表する																			6
6. 結果を保健計画や事業計画に生かす																			5
<b>G. 研究のマネージメント</b>																			
1. 取り上げる課題の意義を周囲に説明する																			2
2. 調査・研究計画書を作成する																			6
3. 調査・研究の円滑な実施に向け、職場内の合意形成や進行管理する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
4. 調査・研究を保健婦業務として位置づける	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13
5. 研究費の予算化ができる	○																		8
6. 調査・研究の指導者の協力を得る																			11
7. 研究の視点から業務の評価が行えるように後輩を指導する																			6

○ 該当項目 ◎ 最も重要な項目 ● 該当項目 + 最も重要な項目

(\*) 半数以上の項目に○をつけた人数

(2)各段階で受けた指導・助言の内容

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	人数(*)
<b>A. 調査・研究の意義</b>																			
1. 調査・研究の必要性・意味を理解している				●															2
2. 調査・研究の位置づけが明確である	○						●												6
<b>B. 問題の把握と明確化</b>																			
1. 地域におきている現象・問題を感ずる											○								2
2. 現象・問題が生じた背景、原因を把握する				○							○								4
3. 問題間の関係を整理し、総合的にとらえる				●			○				○								7
4. 問題の中から解決すべき課題を特定する			○				○				○								10
5. 課題解決に関連するデータ・情報を収集する	●						○				○								4
6. 文献、関係者などを通じ既知の情報を調べる	●			○			○				○								10
<b>C. 目的・目標の設定</b>																			
1. 課題を調査・研究のテーマに結びつける																			5
2. 調査の目的・目標を具体的に表現する	●			○			●												9
3. 調査・研究によってどのような結果が得られそうか予測する	●	○	○	○	○	○	○	○			○								8
<b>D. 調査の実際</b>																			
1. 研究の対象者を選択する					○														4
2. 目的にあった調査・研究方法を選択する	○		○	○	○	○	○	○			○	●							11
3. 目的に応じたデータ収集の方法を選択する	○		○	○	○	○	○	○			○	○							9
4. 目的に応じた調査表等を作成する			○				●				○								9
5. 予備調査等の結果により方法や内容を修正する																			3
<b>E. 結果分析と解釈</b>																			
1. 目的に応じて収集結果を分析する	○		○	○	○	○	○	○			○								12
2. 目的に照らして明らかにした事柄を示す	○		○	○	○	○	○	○			○								7
3. 調査結果と分析結果を解釈する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
<b>F. 結果のまとめ</b>																			
1. 目的から結果まで論旨が一貫している	○		○	○	○	○	○	○			○								10
2. わかりやすい、読みやすい文章・図表を作成する	○		○		○		○				○								10
3. 報告書を作成する				○							○								4
4. 結果を地域住民、関係者に報告する	○										○								4
5. 結果を研究誌等に発表する											○								5
6. 結果を保健計画や事業計画に生かす					○						○								4
<b>G. 研究のマネージメント</b>																			
1. 取り上げる課題の意義を周囲に説明する																			0
2. 調査・研究計画書を作成する																			5
3. 調査・研究の円滑な実施に向け、職場内の合意形成や進行管理する	○			○			○												6
4. 調査・研究を保健婦業務として位置づける			○	○			○												6
5. 研究費の予算化ができる											○								3
6. 調査・研究の指導者の協力を得る											○								3
7. 研究的視点から業務の評価が行えるように後輩を指導する											○								2

(\*)半数以上の項目に○をつけた人数

○ 該当項目    ◎ 最も重要な項目    ● 最も重要な項目 + 該当項目



(3) 役立った・必要と思った指導・助言

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	人数(*)
<b>A. 調査・研究の意義</b>																			
1. 調査・研究する必要性・意味を理解している																			2
2. 調査・研究の位置づけが明確である																			4
<b>B. 問題の把握と明確化</b>																			
1. 地域におきている現象・問題を感ずる																			1
2. 現象・問題が生じた背景、原因を把握する																			1
3. 問題間の関係を整理し、総合的にとらえる																			3
4. 問題の中から解決すべき課題を特定する																			6
5. 課題解決に関連するデータ・情報を収集する																			2
6. 文献、関係者などを通じ既知の情報を調べる																			8
<b>C. 目的・目標の設定</b>																			
1. 課題を調査・研究のテーマに結びつける																			5
2. 調査の目的・目標を具体的に表現する																			5
3. 調査・研究によってどのような結果が得られそうか予測する																			6
<b>D. 調査の実際</b>																			
1. 研究の対象者を選択する																			2
2. 目的にあった調査・研究方法を選択する																			8
3. 目的に応じたデータ収集の方法を選択する																			4
4. 目的に応じた調査表等を作成する																			7
5. 予備調査等の結果により方法や内容を修正する																			1
<b>E. 結果分析と解釈</b>																			
1. 目的に応じて収集結果を分析する																			7
2. 目的に照らして明らかになった事柄を示す																			4
3. 調査結果と分析結果を解釈する																			4
<b>F. 結果のまとめ</b>																			
1. 目的から結果まで論旨が一貫している																			8
2. わかりやすい、読みやすい文章・図表を作成する																			5
3. 報告書を作成する																			1
4. 結果を地域住民、関係者に報告する																			2
5. 結果を研究誌等に発表する																			6
6. 結果を保健計画や事業計画に生かす																			3
<b>G. 研究のマネージメント</b>																			
1. 取り上げる課題の意義を周囲に説明する																			2
2. 調査・研究計画書を作成する																			1
3. 調査・研究の円滑な実施に向け、職場内の合意形成や進行管理する																			5
4. 調査・研究を保健婦業務として位置づける																			4
5. 研究費の予算化ができる																			3
6. 調査・研究の指導者の協力を得る																			8
7. 研究的視点から業務の評価が行えるように後輩を指導する																			4

○ 該当項目 ◎ 最も重要な項目 ● 該当項目 + 最も重要な項目

(\*) 半数以上の項目に○をつけた人数

表 11

## 研究プロセスの各段階別にみる指導保健婦の認識と実施状況

11-1

(1)保健婦が困っていること・課題と想っていること

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	人数(*)
<b>A. 調査・研究の意義</b>																			
1. 調査・研究する必要性・意味を理解している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6
2. 調査・研究の位置づけが明確である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2
<b>B. 問題の把握と明確化</b>																			
1. 地域におきている現象・問題を感ずる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4
2. 現象・問題が生じた背景、原因を把握する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4
3. 問題間の関係を整理し、総合的にとらえる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	9
4. 問題の中から解決すべき課題を特定する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	9
5. 課題解決に関連するデータ・情報を収集する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3
6. 文献、関係者などを通じ既知の情報を調べる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	9
<b>C. 目的・目標の設定</b>																			
1. 課題を調査・研究のテーマに結びつける	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	5
2. 調査の目的・目標を具体的に表現する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	7
3. 調査・研究によってどのような結果が得られそうか予測する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6
<b>D. 調査の実際</b>																			
1. 研究の対象者を選択する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1
2. 目的にあった調査・研究方法を選択する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	8
3. 目的に応じたデータ収集の方法を選択する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4
4. 目的に応じた調査表等を作成する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	5
5. 予備調査等の結果により方法や内容を修正する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3
<b>E. 結果分析と解釈</b>																			
1. 目的に応じて収集結果を分析する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	5
2. 目的に照らして明らかにした事柄を示す	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2
3. 調査結果と分析結果を解釈する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	8
<b>F. 結果のまとめ</b>																			
1. 目的から結果まで論旨が一貫している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	5
2. わかりやすい、読みやすい文章・図表を作成する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	11
3. 報告書を作成する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2
4. 結果を地域住民、関係者に報告する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3
5. 結果を研究誌等に発表する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6
6. 結果を保健計画や事業計画に生かす	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6
<b>G. 研究のマネージメント</b>																			
1. 取り上げる課題の意義を周囲に説明する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4
2. 調査・研究計画書を作成する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1
3. 調査・研究の円滑な実施に向け、職場内の合意形成や進捗管理する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	5
4. 調査・研究を保健婦業務として位置づける	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	11
5. 研究費の予算化ができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	5
6. 調査・研究の指導者の協力を得る	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	9
7. 研究的視点から業務の評価が行えるよう以後輩を指導する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	9

○ 該当項目 ◎ 最も重要な項目 ● 該当項目 + 最も重要な項目

(\*) 半数以上の項目に○をつけた人数

(2)各段階で実施している指導・助言の内容

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	人数(*)	
<b>A. 調査・研究の意義</b>																				
1. 調査・研究する必要性・意味を理解している	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	6
2. 調査・研究の位置づけが明確である	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
<b>B. 問題の把握と明確化</b>																				
1. 地域におきている現象・問題を感じとる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
2. 現象・問題が生じた背景、原因を把握する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
3. 問題間の関係を整理し、総合的にとらえる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
4. 問題の中から解決すべき課題を特定する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7
5. 課題解決に関連するデータ・情報を収集する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
6. 文献、関係者などを通じ既知の情報を調べる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
<b>C. 目的・目標の設定</b>																				
1. 課題を調査・研究のテーマに結びつける	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5
2. 調査の目的・目標を具体的に表現する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5
3. 調査・研究によってどのような結果が得られそうか予測する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5
<b>D. 調査の実際</b>																				
1. 研究の対象者を選択する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
2. 目的にあった調査・研究方法を選択する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
3. 目的に応じたデータ収集の方法を選択する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
4. 目的に応じた調査表等を作成する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
5. 予備調査等の結果により方法や内容を修正する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0
<b>E. 結果分析と解釈</b>																				
1. 目的に応じて収集結果を分析する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5
2. 目的に照らして明らかになった事柄を示す	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
3. 調査結果と分析結果を解釈する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
<b>F. 結果のまとめ</b>																				
1. 目的から結果まで論旨が一貫している	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
2. わかりやすい、読みやすい文章・図表を作成する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6
3. 報告書を作成する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
4. 結果を地域住民、関係者に報告する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
5. 結果を研究誌等に発表する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
6. 結果を保健計画や事業計画に生かす	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
<b>G. 研究のマネージメント</b>																				
1. 取り上げる課題の意義を周囲に説明する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
2. 調査・研究計画書を作成する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
3. 調査・研究の円滑な実施に向け、職場内の合意形成や進行管理する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
4. 調査・研究を保健婦業務として位置づける	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7
5. 研究費の予算化ができる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
6. 調査・研究の指導者の協力を得る	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
7. 研究的視点から業務の評価が行えるように後輩を指導する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4

(\*)半数以上の項目に○をつけた人数

○ 該当項目 ◎ 最も重要な項目 ● 該当項目 + 最も重要な項目

(3) 指導・助言上の実際の工夫

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	人数(*)
<b>A. 調査・研究の意義</b>																			
1. 調査・研究する必要性・意味を理解している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								<input type="checkbox"/>									3
2. 調査・研究の位置づけが明確である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								<input type="checkbox"/>									4
<b>B. 問題の把握と明確化</b>																			
1. 地域におきている現象・問題を感じとる	<input type="checkbox"/>																		1
2. 現象・問題が生じた背景、原因を把握する	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>											2
3. 問題間の関係を整理し、総合的にとらえる	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>											6
4. 問題の中から解決すべき課題を特定する	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>					8
5. 課題解決に関連するデータ・情報を収集する	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>					3
6. 文献、関係者などを通じ既知の情報を調べる	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>															4
<b>C. 目的・目標の設定</b>																			
1. 課題を調査・研究のテーマに結びつける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>											4
2. 調査の目的・目標を具体的に表現する	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>					5
3. 調査・研究によってどのような結果が得られそうか予測する	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>								3
<b>D. 調査の実際</b>																			
1. 研究の対象者を選択する	<input type="checkbox"/>																		1
2. 目的に応じた調査・研究方法を選択する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																4
3. 目的に応じたデータ収集の方法を選択する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>														<input type="checkbox"/>		3
4. 目的に応じた調査表等を作成する	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>															4
5. 予備調査等の結果により方法や内容を修正する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																1
<b>E. 結果分析と解釈</b>																			
1. 目的に応じて収集結果を分析する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>									5
2. 目的に照らして明らかになった事柄を示す	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																2
3. 調査結果と分析結果を解釈する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>										5
<b>F. 結果のまとめ</b>																			
1. 目的から結果まで論旨が一貫している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>									3
2. わかりやすい、読みやすい文章・図表を作成する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>									7
3. 報告書を作成する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																2
4. 結果を地域住民、関係者に報告する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																2
5. 結果を研究誌等に発表する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																4
6. 結果を保健計画や事業計画に生かす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>									4
<b>G. 研究のマネージメント</b>																			
1. 取り上げる課題の意義を周囲に説明する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>									3
2. 調査・研究計画書を作成する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>									3
3. 調査・研究の円滑な実施に向け、職場内の合意形成や進行管理する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>									4
4. 調査・研究を保健婦業務として位置づける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>									7
5. 研究費の予算化ができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																3
6. 調査・研究の指導者の協力を得る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																3
7. 研究的視点から業務の評価が行えるように後援を指導する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>									4

○ 該当項目    ◎ 最も重要な項目    ● 該当項目 + 最も重要な項目

(\*) 半数以上の項目に○をつけた人数